

2月のモチゼミ

「リアル人生ゲーム

(人生を全うするためには「いくら」いるの?)

—簡単な「投資ゲーム」を通じて—

講演者:松浦 修さん

どんな人?

1993年、関西学院大学を卒業後、「金融のデパート」と称された「信託銀行」勤務を強く希望し、住友信託銀行(現三井住友信託銀行)に入社、現在に至る。就職活動時には、あらゆる業界研究を経て、入社。一番印象に残っている仕事は、不動産事業で経験した「開発型証券化プロジェクト」。テレビショッピング・ネット通販会社がメインテナントの巨大倉庫の建設をはじめ、投資家からの資金調達に至るまで、プロジェクト推進に務める。現在は、リテール事業における支店経営に携わり、日々奮闘中!



当日の様子

松浦さんのこれまでの人生を振り返りながらの自己紹介を行い、「人生に必要な三大資金＝教育・住居・セカンドライフ資金」など、**私たちの生活に「お金」がどれくらい必要なのか**をレクチャーしていただきました。さらに、「お金を増やす方法」を学ぶため、「リアル人生ゲーム」を通して必要なお金を得るための視点(分散×長期)を学び、「**物事の仕組み**」を理解することの重要性を体感しました。

生徒たちの感想

- ・今後、生きていくうえで、どれくらいのお金が必要か、どのようにして生みだすかがよくわかった(中3)
- ・投資の仕組みをすっかり分かった方がよいと思った。(高2)
- ・預金と、今後のお金のため方を考えるのって大切!(高3)



講師から

生徒たちになかなかなじみのない「資産」や「投資」ですが、将来設計に必要な知識であることであることを実感できる良い機会でした。また、物事を0か100かの一極集中で考えがちな生徒たちが、株式の運用ゲームを通して「分散化」が必要であることを学び、**勉強などの様々な場面で転用できる思考法を得ることができたのではと思います。**

あてずっぽうではなく、仕組みを理解し、思考を通したうえで物事に取り組むことが大切です。

モチゼミREPORT 2016 2

モチゼミの内容は
ブログにも掲載中!



渋谷校



自由が丘校